

わたしたちの鹿児島、
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.

》 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が生息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産である屋久島や奄美大島及び徳之島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのことを十分に理解し、安易に県内へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

外来種被害予防3原則

入れない

悪影響を及ぼすおそれのある
外来種を自然分布域から
非分布域へ「入れない」。



捨てない

飼養・栽培している
外来種を適切に管理し、
「捨てない」。



拡げない

既に野外にいる外来種を
他地域に「拡げない」。



》 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するために防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。



鹿児島県にお住まいの方向け

シキザキベゴニア 防除マニュアル

シキザキベゴニアは鹿児島県外来種リストにおいて、遺棄・導入・逸出防止等のための重点的な普及啓発が必要な種とする「重点啓発種」に選定されています。また、「指定外来動植物による鹿児島の生態系に係る被害の防止に関する条例」に基づき、指定外来動植物に指定されています。

本県の外来種の詳しい情報については！ [鹿児島県 外来種](#) 🔍 検索

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。

URL <https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html>



わたしたちの鹿児島、
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.



シキザキベゴニアってこんな植物

シキザキベゴニア

シュウカイドウ科 ▶ 南アメリカ(アルゼンチン北部～ブラジル南部等)原産
 学名 : *Begonia cucullata*
 鹿児島県カテゴリー : 県指定外来動植物、重点啓発種
 県内移入分布 : 奄美大島、屋久島、日置市、薩摩川内市

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開花												
結実												
掘りとり												



- 導入** 栽培されていたものが逸出した可能性があります。
- 形態** 常緑多年草でいくつもの園芸品種があります。高さは15～45cmです。耐寒性が低く、本土では冬季に枯れることが多いです。しかし、奄美大島では枯れずに通年見られます。
- 葉** 多肉質で全体に光沢があり、互生で長さ5～10cm程度です。葉の付け根部分は非対称で、葉全体に浅い鋸歯があります。
- 花** 茎の先端付近の葉腋に2～3cmの花をつけます。花色は淡桃色や薄紅色です。果実には翼があります。
- 繁殖** 挿し芽(茎・葉)による栄養繁殖や種子による繁殖を行います。種子繁殖も簡単とされます。

シキザキベゴニアによる影響

在来種との競合が懸念されています。奄美大島では世界自然遺産地域への侵入も確認されており、遺産地域の生態系に影響を与えるおそれがあります。

シキザキベゴニアの防除方法



主な生育地 湿った環境を好み、川沿いの林道や市街地の側溝等に見られます。

家庭で栽培しているものを野外に放出しないようにしましょう。

掘りとり

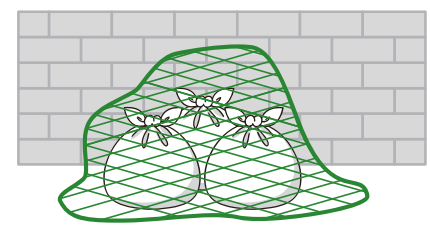
時期 ● 一年中

除去方法



残った茎から再生する可能性があるため、植物体を残さないように根ごと掘り取ります。熟した果実がある場合は、その果実から種子をこぼさないように掘りとりましょう。

廃棄方法



茎の節の部分や果実を落とさないように袋に入れて運搬、適切に処理を行いましょう。

根絶までの流れ

1度の駆除で確認されなくなった場合も、駆除後1～2年間は確認しましょう。新たに確認された場合は、継続して掘り取りを行いましょう。